

# Zoom Up

**ズームアップ!さかた**  
私の街さかた。あの日あの時。

## 詩人の 吉野 弘さんが死去

本市出身の詩人 吉野弘(よしの ひろし)さんが1月15日死去しました。87歳。吉野さんは平成8年度に酒田市特別功労表彰を受賞。市立琢成小学校、市立泉小学校の校歌の作詞や酒田みちのく豆本に作品を発表するなど本市の文化振興に貢献しました。主な著書は「消息」「自然渋滞」「祝婚歌」など。謹んでご冥福をお祈りいたします。



▲平成8(1996)年11月1日酒田市顕彰式祝賀会での吉野さん



## 1/25 幽玄の世界に 浸る

第23回雪の能 まつやま大寒能が松山農村環境改善センターで行われました。市内外から集まった観客は、狂言「針立雷」と能「船弁慶」を鑑賞し、重厚な伝統芸能に見入っていました。



## 1/26 防火の誓いを 新たに

本市の無災害を祈念し、市民の防火意識の高揚を図る消防出初式がマリン5清水屋前で行われました。消防団員の勇壮なはしご乗りやレスキュー隊員の救助演技が披露され、きびきびとした動きに見物に訪れた多くの市民から盛んな拍手が送られていました。

## 1/25、26 冬はなんと いっても寒鱈汁

冬定番の酒田日本海寒鱈まつりが市内の各会場で行われ、大勢の市民や観光客が寒鱈汁を味わいました。寒鱈汁のほか酒田の味を取りそろえた「味の暖簾街」、太鼓演奏の披露、スペシャル寒鱈料理の販売なども開催され、まつりを盛り上げていました。



## 1/26 外国の料理で 交流

市内在住の外国出身の方が自慢の料理を販売した「世界の料理フェア2014」が交流ひろばで開催されました。外国出身者との交流や台風で被害を受けたフィリピンを応援するバナナ春巻きのチャリティ販売も行われ、多くの市民でにぎわっていました。



### 取材 ノート

寒鱈をスペシャルな料理に変えた「食の都庄内」親善大使の料理人たち。食材イベントの人気の高さをみた(す) ▶町並みに目を凝らせば、浮かび上がる住  
時の繁栄。誇りを胸に、景観を未来へ(ま) ▶松山能、優美な舞で幽玄の世界へ。次は黒森歌舞伎の正月公演。雪降る中での歌舞伎鑑賞もまた楽しみ(お)  
▶あふれる若さと笑顔にくらくらした成人式。SNSがあっても、直接会う感動はやっぱり別物(み)



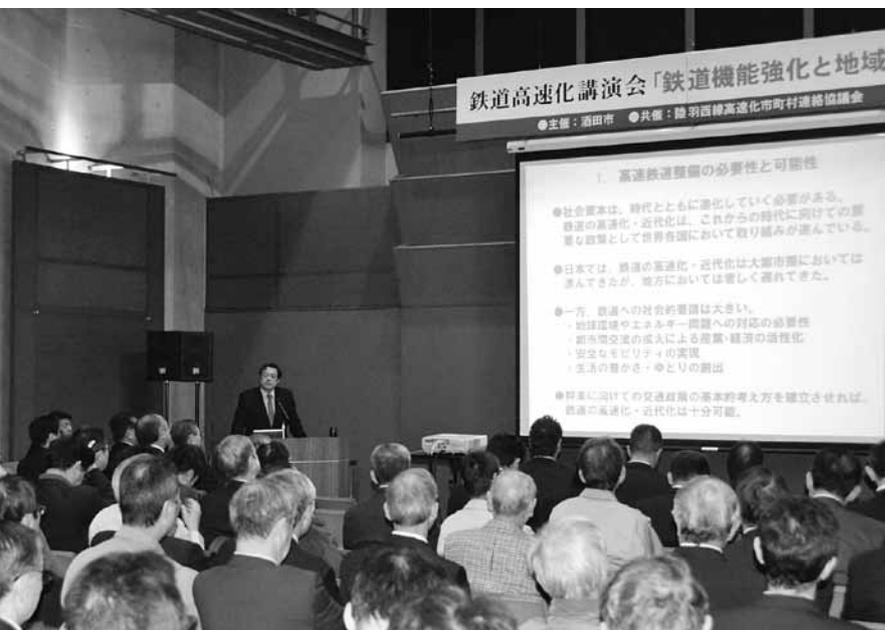
## 1/5 気持ちを込めて

新春書き初め会が総合文化センターで行われました。書き初め会には小中学生53人が参加し、参加した子どもたちは墨をたっぷりと含ませた筆で一筆一筆気持ちを込めて、作品を書き上げていました。



## 1/11 日本の伝統文化に触れる

やわた百人一首かるた大会が八幡タウンセンターで開催されました。小学生から一般まで約150人の参加者が、集中を切らさず真剣な表情で対戦し、かるたが宙に舞う場面もありました。



## 1/17 山形新幹線庄内延伸へ向けて

本市主催の「鉄道高速化講演会」が希望ホールで行われ、約200人が参加。本間市長のあいさつに続き、講師の京都大学大学院 中川大教授が高速鉄道整備の必要性と地方都市のにぎわい創出について講演し、山形新幹線庄内延伸事業の重要性を強調されました。



## 1/22~29 文化財を守る

1月26日の文化財防火デーにちなみ、市内の文化施設7か所で防火訓練が行われました。24日、国指定史跡 旧鑑屋では放水銃を使って、屋根に向かって放水するなど、災害に備えた実践的な訓練が行われました。



## 1/24、25 鹿児島からようこそ

鹿児島志布志市の児童・生徒8人が冬の山形の生活体験を目的に松山地域を訪れました。滞在中は除雪や笹巻きづくり、スキーなどを体験したほか、松山地域の小学生の家にホームステイし交流を深めました。

## 1/24~27 ようこそ沖縄の子どもたち

沖縄県東村の6年生の児童13人が八幡地域を訪れ、一條小学校の児童との交流や八幡スキー場での雪体験、夜の交流会などで交流を深めました。

